



荒川水系(埼玉ブロック)流域治水プロジェクト 事例集

新規事例

『グリーンインフラ整備事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ②校庭(公園等)貯留施設の整備



砕石貯留槽



浸透枳

担当部署

戸田市 みどり公園課

連絡先

048-424-9576

関係機関

—

取組概要

喜沢2丁目児童遊園地リニューアル工事に伴い、グリーンインフラの整備を実施。(現在工事中)

取組内容の工夫点・課題・留意点

- ・多目的広場のクレイ舗装下に砕石貯留槽(t=300mm)を設置
- ・雨水排水は、浸透枳、浸透トレンチを設置

取組による効果

- ・雨水流出抑制施設による公園敷地内の貯留・浸透機能の拡充
- ・浸透した雨水の蒸散によるヒートアイランド現象の緩和

活用可能な制度等

- ・なし

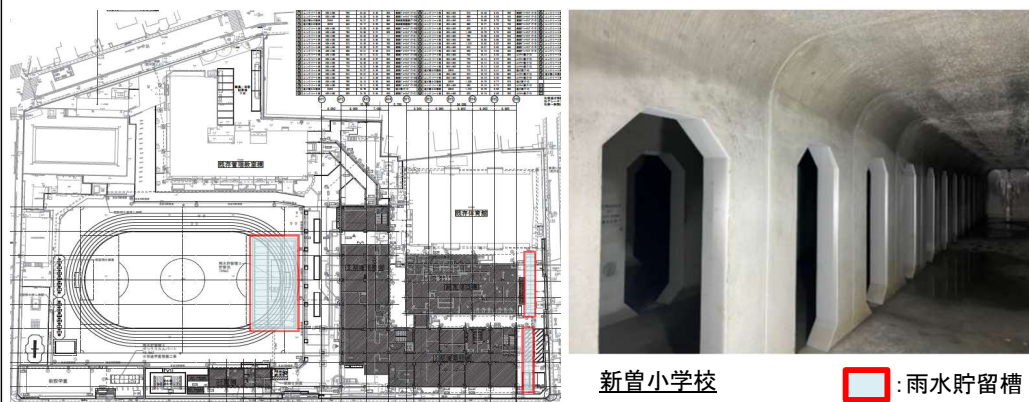
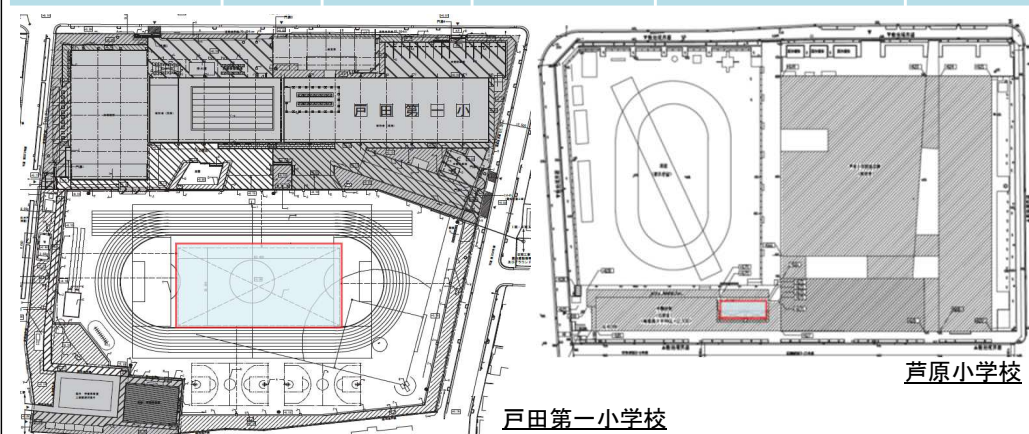
『増改築工事における雨水貯留槽の設置』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- (5) 流域の雨水貯留機能の向上 ②校庭(公園等)貯留施設の整備 ⑥建物内の雨水貯留施設の整備
⑧一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置義務

実施内容

	工事	実施時期	設置場所	貯留槽	容量
戸田第一小学校	改築	R6年12月	校庭	樹脂製貯留ブロック	1,837m ³
新曽小学校	増築	R7年1月	校庭及び敷地	ボックスカルバート	952m ³
芦原小学校	増築	R6年10月	地下ピット	増築棟構造体	170m ³



新曽小学校

□: 雨水貯留槽

担当部署 戸田市 企画財政部 資産マネジメント推進室

連絡先 048-441-1800

関係機関 戸田市 教育委員会事務局 教育総務課

取組概要

市内3小学校の増改築工事において、戸田市宅地開発事業等指導条例に基づく雨水貯留施設を設置。

取組内容の工夫点・課題・留意点

必要貯留量を確保するため、限られた敷地の中で有効な方法を検討した。

取組による効果

敷地からの雨水流出を抑制することで、流域の浸水被害を軽減する。

活用可能な制度等

『調節池における自然環境に配慮した場内整備』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ⑪ グリーンインフラ整備

芝川第一調節池の整備状況



左岸池での取組例



担当部署

河川砂防課 新河岸川・荒川下流域担当

連絡先

048-830-5143

関係機関

さいたま県土整備事務所、さいたま市

取組概要

調節池の本来機能である治水機能と整合を図りつつ、多くの生物が生育する自然性の高い空間および広く県民が多目的に活用できる空間づくりを目指す。

取組内容の工夫点・課題・留意点

治水機能の確保を前提としつつも、見沼田圃などの周辺自然環境と調和した整備を行うため、地元さいたま市や有識者等の意見を取り入れた整備を行う。

取組による効果

左岸池で自然環境に配慮した整備を実施した結果、現在では約120種類の動植物が確認され、生態系が豊かになりつつある。

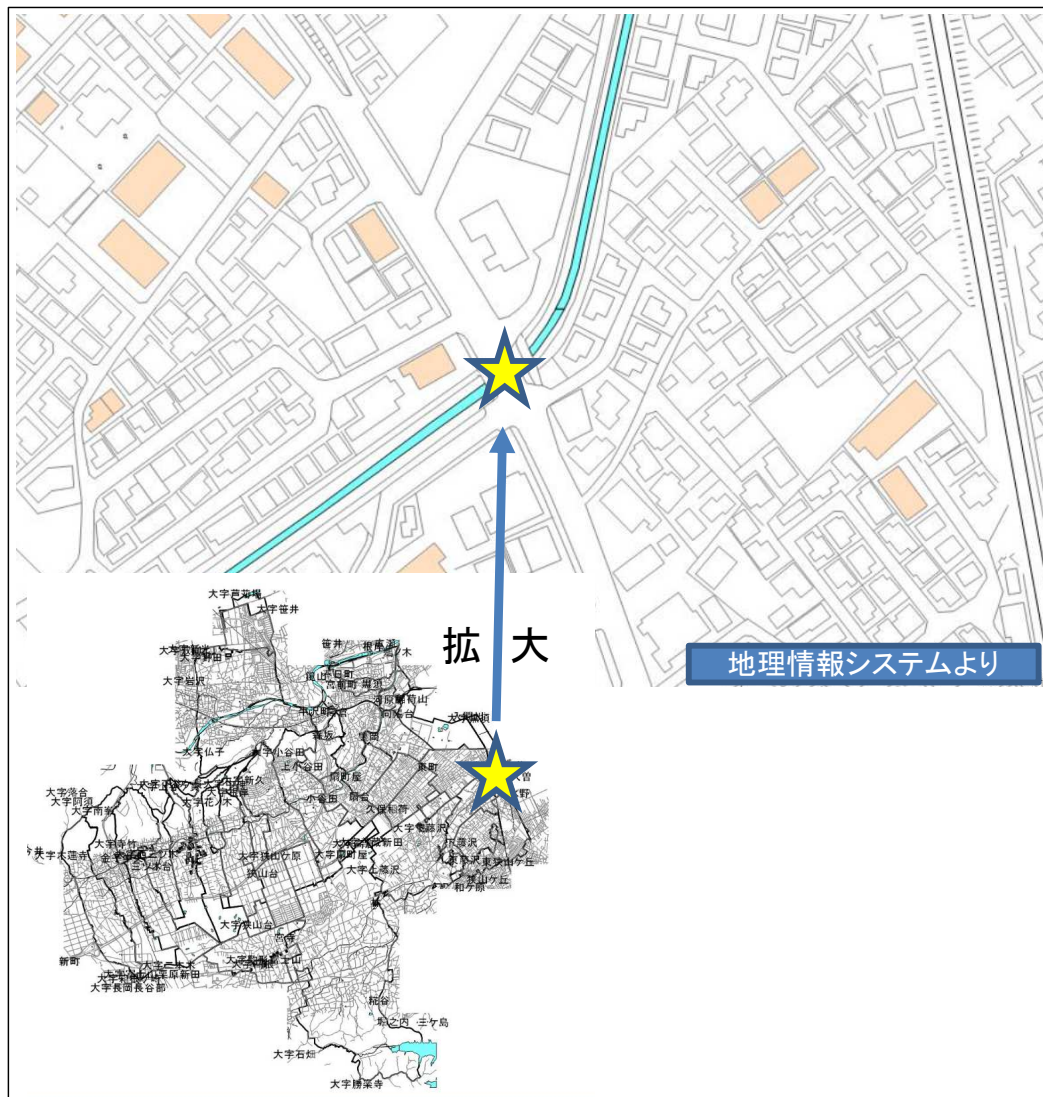
活用可能な制度等

特になし

『ワンコイン浸水センサの整備』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1)避難体制等の強化 ②ワンコイン浸水センサの整備



担当部署 入間市 危機管理安全部 危機管理課

連絡先 04-2964-1111(内線3362)

関係機関 埼玉県河川砂防課 国土交通省

取組概要

河川に浸水センサを設置することにより、出水時に河川水位の状況をリアルタイムに把握すると共に、その情報を関係者と共有することで、円滑な出水対応を実施する。

取組内容の工夫点・課題・留意点

令和6年4月設置、効果を検証するとともに、新たな設置個所について県と調整中。

取組による効果

河川水位(溢水危険性)の速やかな把握と、円滑な出水対応が期待できる。

活用可能な制度等

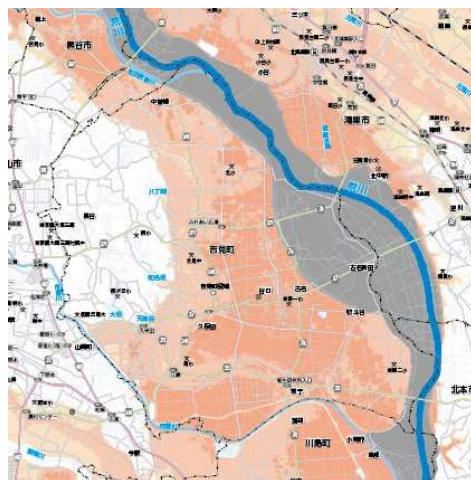
「ワンコイン浸水センサ実証実験」(国土交通省)

『まるごとまちごとハザードマップ事業』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実

(1)避難体制等の強化 ③まるごとまちごとハザードマップの整備

浸水想定区域図(荒川水系荒川)



洪水標識設置状況



公共施設等壁面の設置状況



電柱(東電柱)の設置状況

担当部署

吉見町 総務課 危機管理室

連絡先

0493-54-1505

関係機関

—

取組概要

・町民に対する水害リスクの周知

「吉見町防災ハザードマップ」の更なる普及浸透、洪水時における避難所等の認知度及び危機意識の向上を図ることを目的とし、洪水標識を設置した。

○事業内容:洪水標識設置

※内訳:公共施設等 19施設35基、電柱 95箇所

取組内容の工夫点・課題・留意点

公共施設では利用が限られることから、電柱標識については、コンビニなどの民間施設付近に設置することにより、より多くの人の目に留まるように取り組んだ。

取組による効果

洪水標識により想定浸水深等の洪水情報を表示することで、平常時より地域住民自らが生活する地域の危険性を実感することができるとともに、荒川及び市野川の氾濫時や避難指示等の発令時に迅速な避難行動も期待できる。

活用可能な制度等

防災・安全交付金(社会資本整備総合交付金)

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

吉見町、川島町、新座市、越谷市

『内水浸水想定区域図の作成』

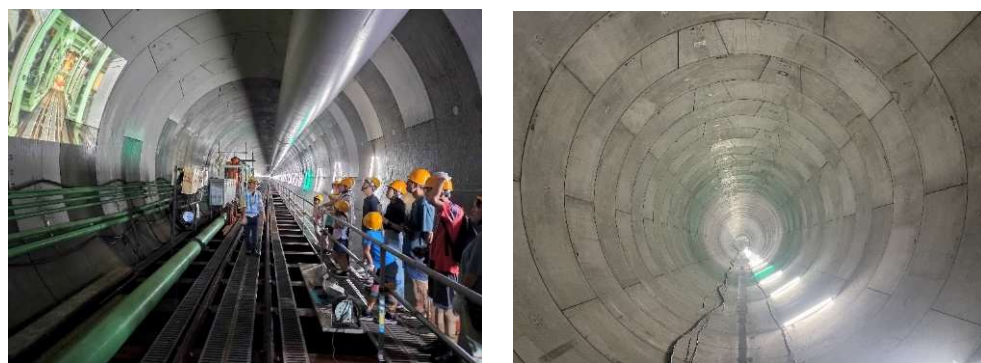
3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1)避難体制等の強化 ④その他の取り組み

○令和7年度に、委託業務にて想定し得る最大規模の降雨に対応する内水浸水想定区域図を作成



現在の内水浸水想定区域図



新曽地区の浸水被害軽減対策
北大通り雨水貯留管（整備中）

担当部署

戸田市 水安全部下水道施設課

連絡先

048-229-4673

関係機関

取組概要

都市化の進展・気候変動の影響により、大雨等が頻発し、内水氾濫による危険性が増大している状況を緩和するために、将来にわたってハード対策を着実に推進し、起こりうる内水による浸水を未然に防止するとともに、緊急的にソフト対策として、内水浸水想定情報の住民等への公表・周知による浸水被害の最小化を図る。

取組内容の工夫点・課題・留意点

現在の内水浸水想定区域図(内水ハザードマップ)は、既往最大降雨(平成17年9月4日 時間最大降雨強度108mm、総雨量183.5mm)で平成30年度に作成したものであり、対象降雨を見直し最新の情報に更新する必要がある。

取組による効果

効率的な自助・共助を導くためのソフト対策として、内水浸水想定区域を積極的に住民に周知し、平常時から住民・行政間で内水による浸水に関する情報を共有するとともに、浸水のおそれがある場合の避難に資する情報の発信等も検討することで、住民自身の自助・共助意識、防災意識の向上を図る。

活用可能な制度等

社会資本整備総合交付金(防災・安全)

『水防訓練の実施』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実

(1)避難体制等の強化 ④その他の取り組み



担当部署

越谷市 建設部 河川課

連絡先

048-963-9203

関係機関

一般社団法人 関東地域づくり協会

取組概要

・激甚化・頻発化する水災害に備え、水防技術の習得・向上を図るため、防災エキスパートを講師として招き、水防訓練を実施した。

《訓練内容》

- ・縄結び
- ・土のうづくり
- ・積み土のう工

取組内容の工夫点・課題・留意点

・技術職員のみではなく、水防班に入っている事務職員にも参加してもらった点

取組による効果

・水防技術の習得・向上

活用可能な制度等

—

更新事例

『上戸田川整備事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(1) 洪水氾濫対策 ① 堤防整備、② 河道掘削

●計画諸元

上戸田川については、各流域市における下水道計画等との整合を図り、以下のような計画が策定されています。

項 目	計 画
計画河道延長	1,873m (1/3 年: 50mm/hr)
流域面積 (蕨市川合流地点)	2.97km ² (戸田市 1.75km ² 、蕨市 1.22km ²)
計画降雨確率 暫定計画 (将来計画)	1/1 年: 30mm/hr (1/3 年: 50mm/hr)
計画高水流量 暫定計画 (将来計画)	14m ³ /s (24m ³ /s)
縦断勾配	1/1500



担当部署 戸田市 水安全部河川課

連絡先 048-229-4801

関係機関 戸田市まちづくり区画整理室、蕨市

取組概要

蕨市(流域約1.22km²)を上流とする準用河川上戸田川の戸田市(流域約1.75km²)区間(約1,873m)について、戸田都市計画新曽第二土地区画整理事業と一体的に新たな河道を整備することにより、流域である市街地に必要な雨水排水先を確保する。

取組内容の工夫点・課題・留意点

土地区画整理事業に併せた河川の整備であり、作業ヤードや施工スケジュールなど、他の事業との調整が必須となる。

上戸田川上流域にあたる蕨市は、流域割合に応じた事業費を負担している。

既設水路と河川を、市道下にバイパス管を通すことで早期効果発現を実現。

取組による効果

時間降雨50mm対応の河道改修により、流域の浸水被害を軽減する。加えてバイパス管の施工により、R6.7.31の集中豪雨では、浸水常習箇所の浸水被害軽減を実現。

活用可能な制度等

・社会資本整備総合交付金

『さくら川整備事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(1) 洪水氾濫対策 ①堤防整備、②河道掘削

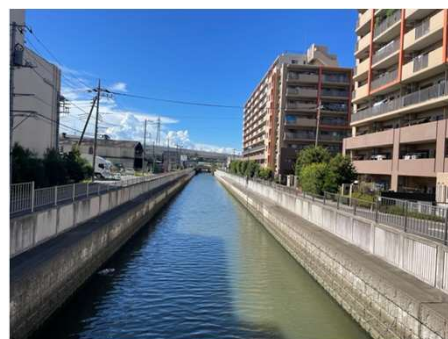
● さくら川は農業用排水路として利用されてきました。しかし、近年の都市化に伴い農業用排水路としての役割が低下し、流域からの水を流下させる都市河川としての機能が重視され以下のような計画が策定されています。

さくら川基本諸元

項 目	計 画
計画河道延長(戸田市)	3,400m
流域面積	約474ha
計画降雨確率	1/3年
時間降雨	50.4mm
計画高水流量	35m ³ /s



整備前



整備後

担当部署

戸田市 水安全部河川課

連絡先

048-229-4801

関係機関

さいたま市

取組概要

さいたま市(流域約2.44km²)を上流とする普通河川さくら川の戸田市(流域約2.30km²)区間(約3,400m)について、堤防整備(計画堤防高の確保)及び河道掘削することにより、流域である市街地に必要な雨水排水先を確保する。

取組内容の工夫点・課題・留意点

狭隘な市街地での工事となるため、作業ヤードを河川上に作るなどの工夫が必要となる。

さくら川上流域にあたるさいたま市は、流域割合に応じた事業費を負担している。

取組による効果

時間降雨50.4mm対応の河道改修により、流域の浸水被害を軽減する。

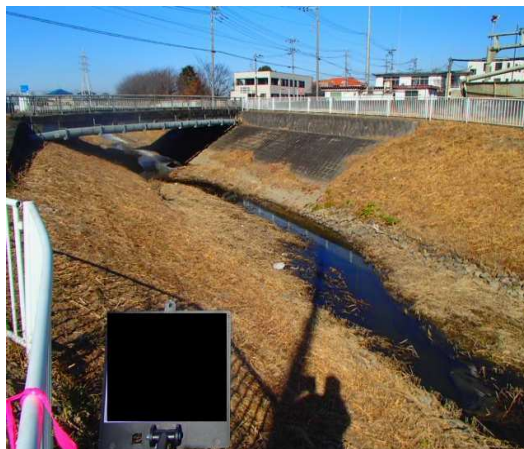
活用可能な制度等

特になし

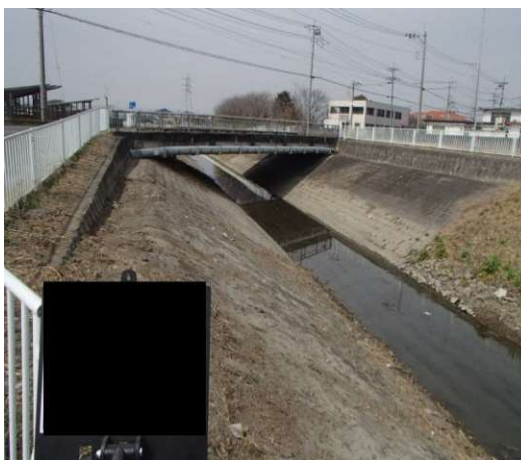
『準用河川浚渫事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(1) 洪水氾濫対策 ② 河道掘削



実施前



実施後

担当部署

熊谷市 建設部河川課

連絡先

048-524-1490

関係機関

—

取組概要

準用河川の浚渫

取組内容の工夫点・課題・留意点

滞留の多い所を優先的に除去をしている。

取組による効果

有効断面の確保
雑草繁茂の抑制
河川の景観

活用可能な制度等

・緊急自然災害防止対策事業債(緊急浚渫推進事業債)

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

熊谷市、上尾市、戸田市、坂戸市、吉見町、鳩山町、**東松山市**、埼玉県、荒川上流河川事務所、

『 床上浸水対策特別緊急事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(1) 洪水氾濫対策 ②河道掘削、③遊水機能の向上



洪水時の状況 (H28.8月台風9号)

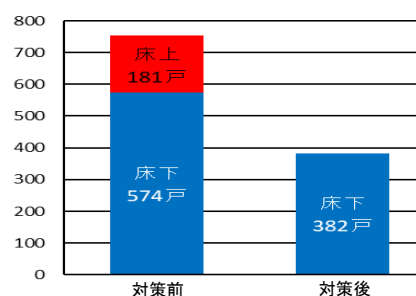


不老橋(入間市)



大森調節池拡張後(入間市)

取組による効果



河道拡張後(狭山市)

担当部署 河川砂防課 新河岸川・荒川下流域担当

連絡先 048-830-5143

関係機関 川越県土整備事務所、飯能県土整備事務所

取組概要

箇所: 一級河川不老川/狭山市、入間市

平成28年8月の台風9号による記録的な豪雨により、不老川で溢水し、床上浸水181戸などの大きな浸水被害が発生した。

この対策として、床上浸水被害の解消を目指し、調節池拡張、河道拡張及び治水上ネックとなっていた橋梁の撤去を行った。

取組内容の工夫点・課題・留意点

限られた期間内に多くのメニューを実施する事業であるため、全体の工程管理が課題となった。この対策として、工事における業者間の調整や関係機関との調整を密に行なった。

取組による効果

不老川の治水安全度が向上するとともに、平成28年8月の台風9号と同規模の降雨に対し、床上浸水をゼロとする。

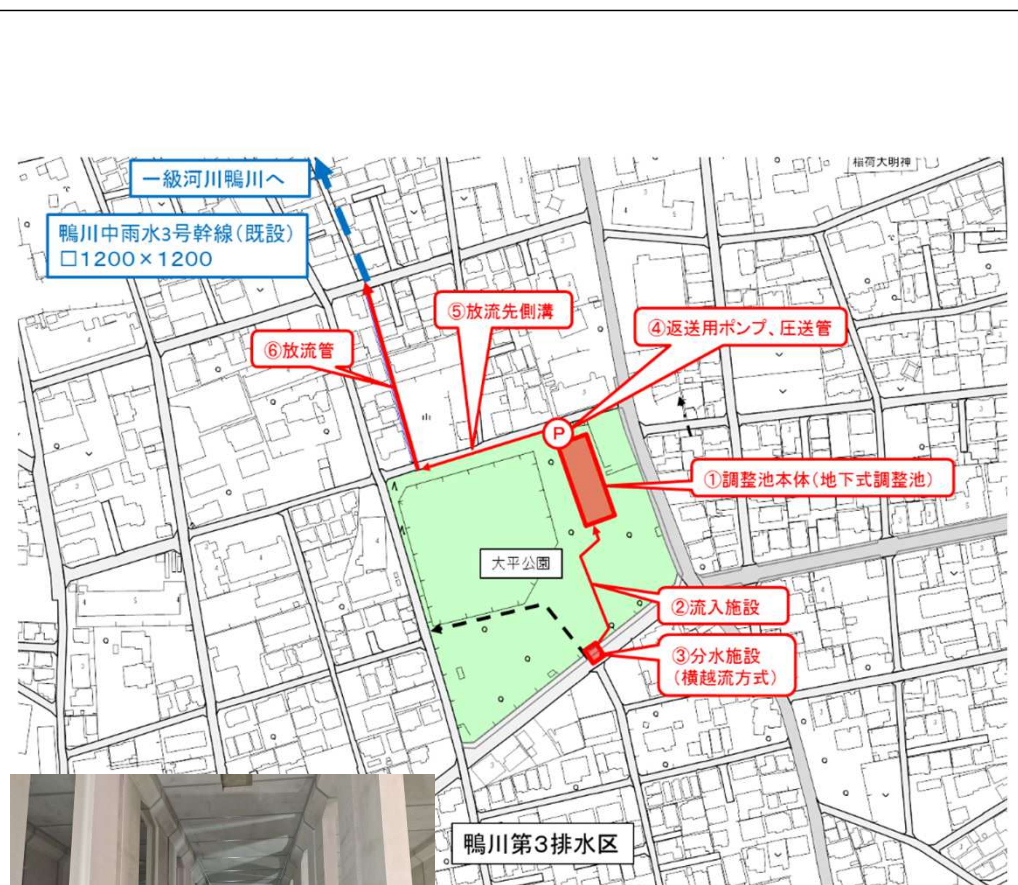
活用可能な制度等

床上浸水対策特別緊急事業(国交省)

『大平公園調整池整備事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(2) 内水氾濫対策 ① 雨水貯留施設の整備



大平公園調整池（内部）

担当部署	さいたま市 建設局下水道部下水道計画課
連絡先	048-829-1566
関係機関	—

取組概要

当該地区の浸水被害軽減のため、貯留施設を大平公園（さいたま市大宮区三橋1丁目）の地下に整備。

貯留量: 約2,800m³

寸法: 縦42.0m × 横13.7m × 6.0m

取組内容の工夫点・課題・留意点

取組による効果

市の計画降雨である55.5mm/h(5年確率)に対応

活用可能な制度等

特になし

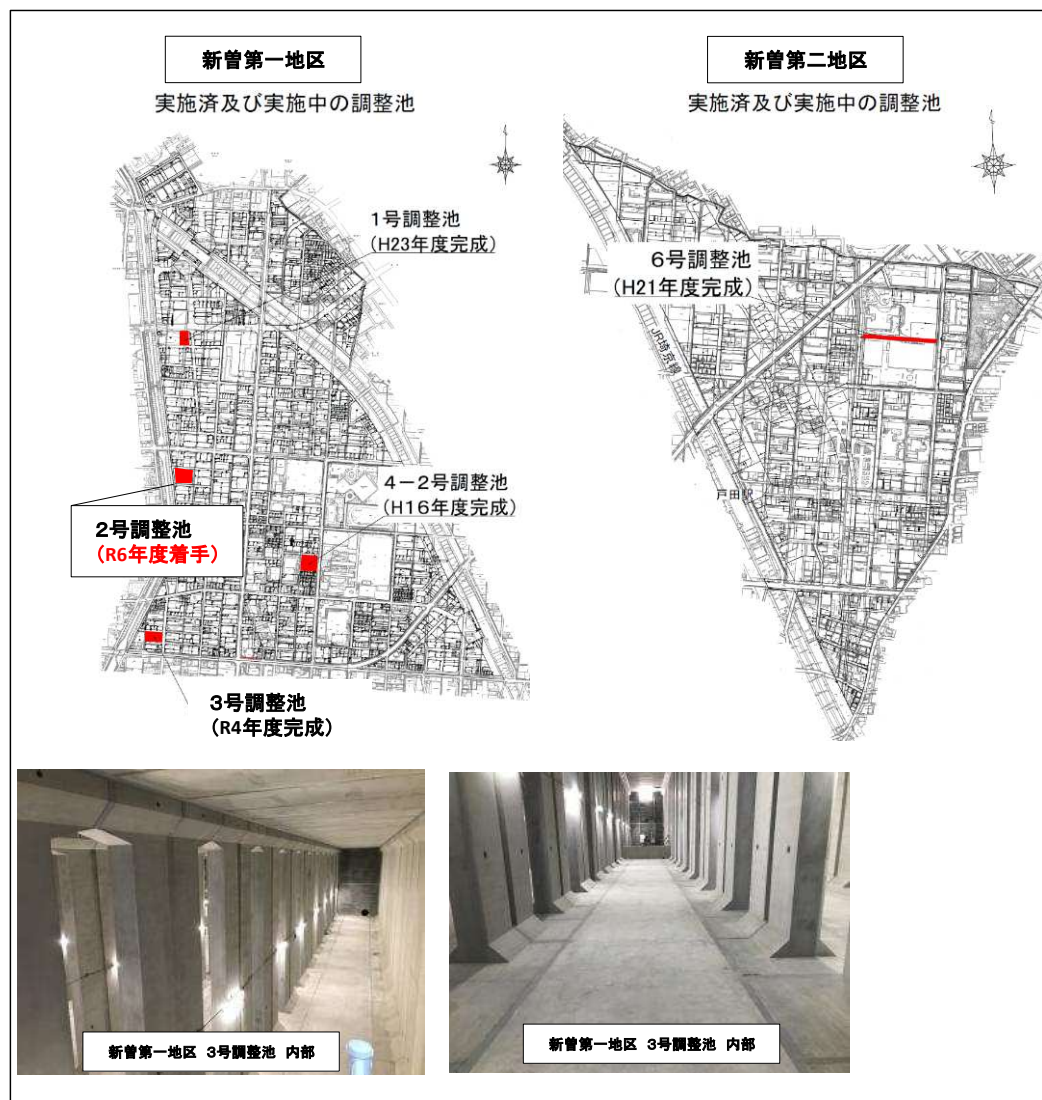
荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、飯能市、東松山市、狭山市、鴻巣市、越谷市、蕨市、戸田市、朝霞市、和光市、北本市、富士見市、ふじみ野市、伊奈町

『調整池整備』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(2) 内水氾濫対策 ① 雨水貯留施設の整備



担当部署

戸田市 都市整備部まちづくり区画整理室

連絡先

048-447-7300

関係機関

—

取組概要

・雨水貯留施設の整備

取組内容の工夫点・課題・留意点

・地中に自然由来の有害物質があった場合の残土処分が課題。

・令和6年度から工事着手した新曽第一地区2号調整池については、土壌調査の結果を反映し、自然由来の有害物質をできる限り避けた位置で整備を進める設計とした。

取組による効果

・事業地内の浸水被害を軽減するための治水機能の向上

活用可能な制度等

・社会資本整備総合交付金

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

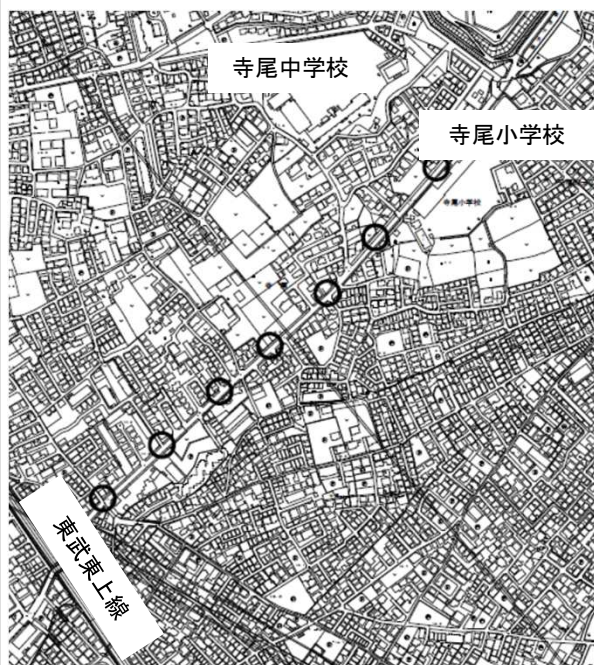
戸田市、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、飯能市、東松山市、狭山市、鴻巣市、越谷市、蕨市、朝霞市、和光市、北本市、富士見市、ふじみ野市、伊奈町

『江川流域都市下水路内水対策工事』

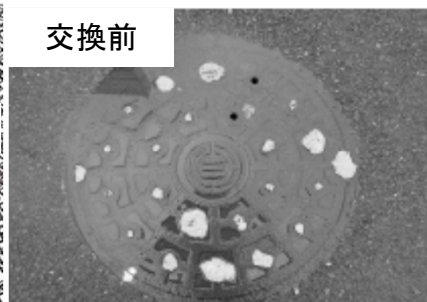
1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- (2) 内水氾濫対策 ② 排水施設の整備

(位置図)
川越市大学寺尾地内

(概要図・整備状況写真等)



交換前



交換後



担当部署

川越市 河川課

連絡先

049-224-6041

関係機関

—

取組概要

江川流域都市下水路(現:江川3号雨水幹線)に係る内水対策として、道路下を流れる都市下水路からの雨水の吹き出しを防止するため、一部の人孔蓋(7箇所)の密閉化を図る。

取組内容の工夫点・課題・留意点

—

取組による効果

道路下を流れる都市下水路からの雨水の吹き出しの防止を図り、内水浸水を防止する。

活用可能な制度等

特になし

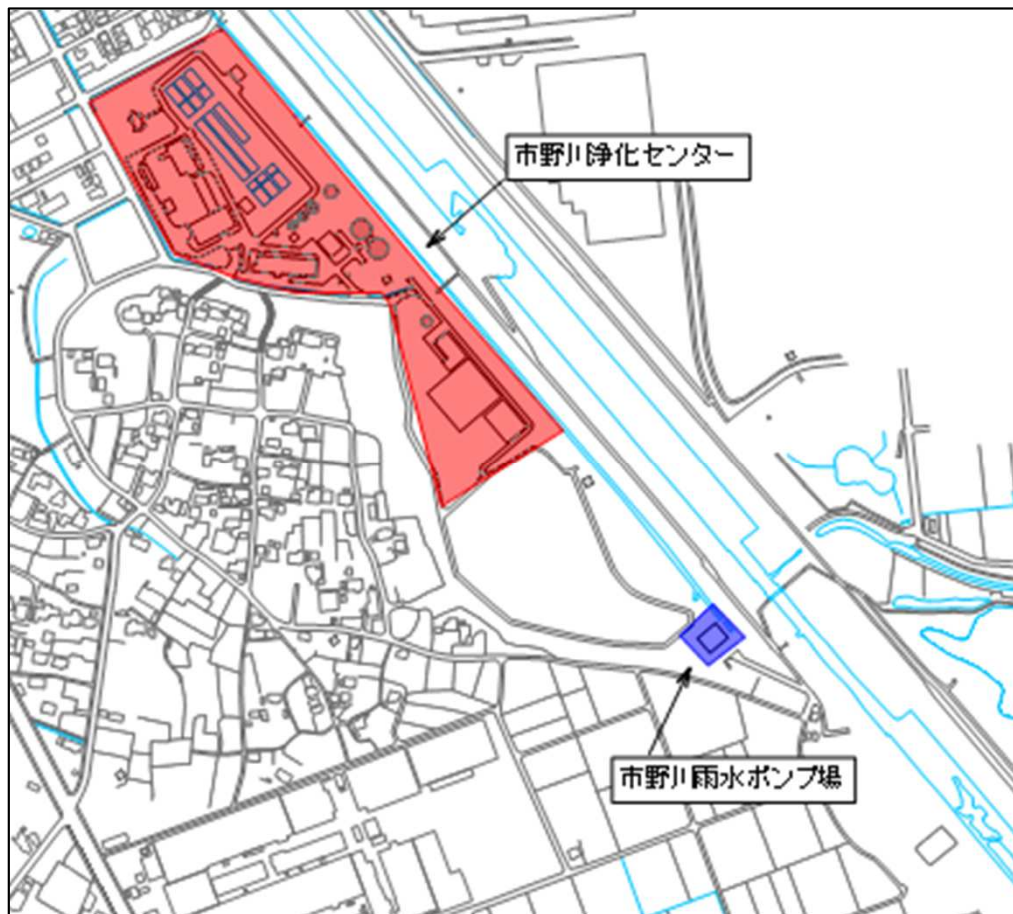
荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

川越市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、東松山市、狭山市、鴻巣市、深谷市、上尾市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、志木市、和光市、新座市、桶川市、北本市、富士見市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、川島町、水資源機構

『東松山市市野川雨水ポンプ場築造事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(2) 内水氾濫対策 ② 排水施設の整備



担当部署 東松山市 建設部下水道施設課

連絡先 0493-22-1123

関係機関 —

取組概要

東松山市東部土地区画整理事業区域内の内水被害を軽減するため、東松山市市野川雨水ポンプ場を築造した。

取組内容の工夫点・課題・留意点

—

取組による効果

東松山市東部土地区画整理事業区域内の内水浸水の被害の軽減に寄与した。

活用可能な制度等

特になし

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

東松山市、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、狭山市、鴻巣市、深谷市、上尾市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、北本市、富士見市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、川島町、水資源機構

『小前田第5雨水幹線整備事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(2) 内水氾濫対策 ② 排水施設の整備

位置図



【事業概要】

全体延長: 約1,670m
総事業費: 約27億円
工事年度: H23~R4
※雨水管渠はR3完了
R4は舗装本復旧のみ

県内位置図



担当部署

深谷市 下水道工務課

連絡先

048-577-7542

関係機関

—

取組概要

雨水管渠の整備を行い、小前田駅北地区及び小前田駅周辺の浸水被害の改善を図る。

全体全長: 約1,670m

総工事費: 約27億円

工事期間: 平成23年度～令和4年度

※雨水管渠整備については令和3年度に完了、令和4年度は舗装本復旧のみ

取組内容の工夫点・課題・留意点

—

取組による効果

雨水の放流先が分散されることから、他の排水路の負担軽減や小前田駅北地区及び小前田駅周辺の浸水被害が改善された。

活用可能な制度等

特になし

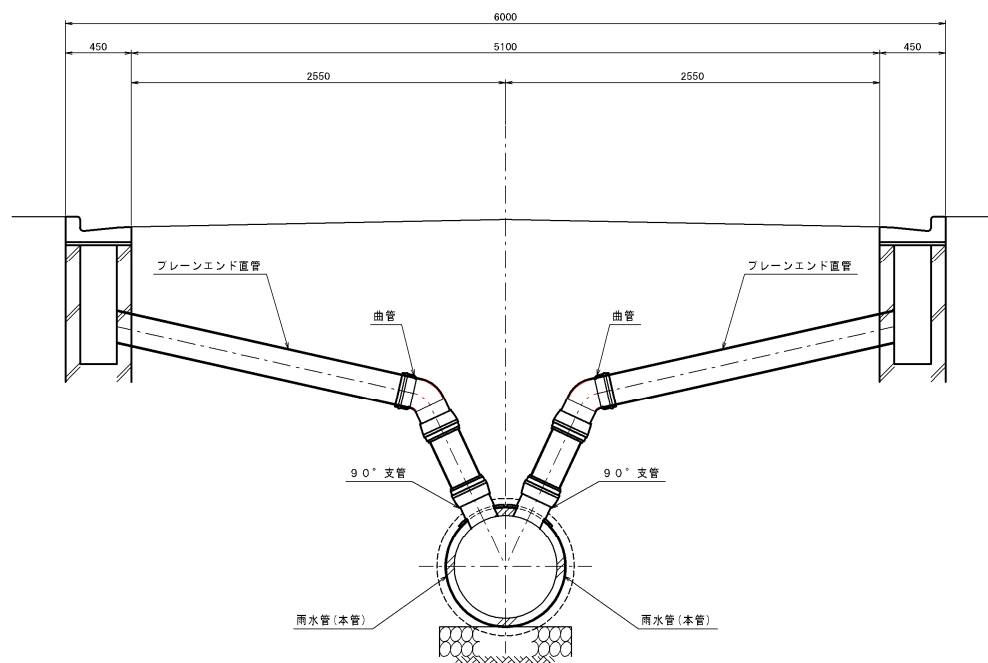
荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

深谷市、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、東松山市、狭山市、鴻巣市、上尾市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、志木市、和光市、新座市、桶川市、北本市、富士見市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、川島町、水資源機構

『下水道維持管理事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- (2) 内水氾濫対策 ② 排水施設の整備

標準構造図



担当部署 富士見市 建設部下水道課

連絡先 049-251-2711

関係機関 —

取組概要

集水桝や側溝に流入した雨水を排水する埋設管を布設するもの。

取組内容の工夫点・課題・留意点

—

取組による効果

道路上の表面水を効率的に処理でき、**内水被害の軽減が期待される。**

活用可能な制度等

・社会資本整備総合交付金(防災・安全)

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

富士見市、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、東松山市、狭山市、鴻巣市、深谷市、上尾市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、志木市、和光市、新座市、桶川市、北本市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、川島町、水資源機構

『雨水貯留函渠新設事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(2) 内水氾濫対策 ② 排水施設の整備



対策前浸水状況



函渠内部

担当部署 行田市 建設部道路治水課

連絡先 048-550-1553

関係機関 -

取組概要

大雨、台風等による浸水常襲地区であった西新町に、2,400 m³(25mプール4杯分)を貯留できる貯留函渠と集水管渠を整備し、令和4年度に完成した。

取組内容の工夫点・課題・留意点

本地区はこれまで自然流下の雨水管により雨水対策を実施してきましたが、排水先である排水路の影響により浸水被害が発生してきました。その対策として貯留函渠を整備し、貯留函渠に貯水した雨水は排水先である排水路の水位が下がりしだいポンプが稼働するように制御されている。

取組による効果

大雨時の一時的な貯留により、地区の浸水被害防止に効果がある。

活用可能な制度等

防災・安全交付金

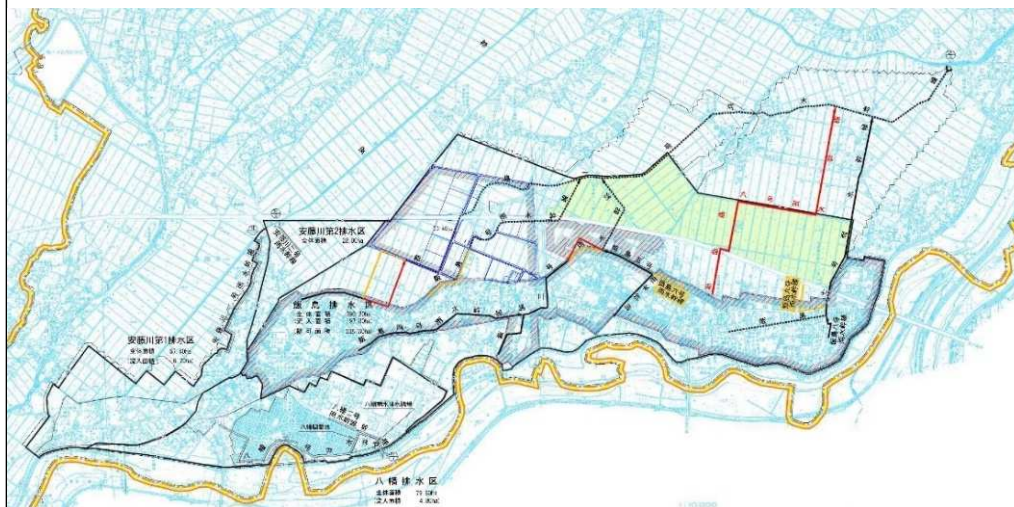
荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

富士見市、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、東松山市、狭山市、鴻巣市、深谷市、上尾市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、志木市、和光市、新座市、桶川市、北本市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、川島町、水資源機構

『飯島雨水幹線整備事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(2) 内水氾濫対策: 下水道施設(都市浸水対策の強化) ② 排水施設の整備※通常の雨水排水管整備を含む



担当部署

川島町 上下水道課

連絡先

049-297-1818

関係機関

—

取組概要

川島町の約555haを全体計画区域とし、計画区域内の雨水排除を目的として整備を進めている。

取組内容の工夫点・課題・留意点

既存の整備済み水路を活用することにより、期間と費用の縮減を図っている。

取組による効果

雨水幹線の整備が進むことにより、排水能力の向上を図っている。

活用可能な制度等

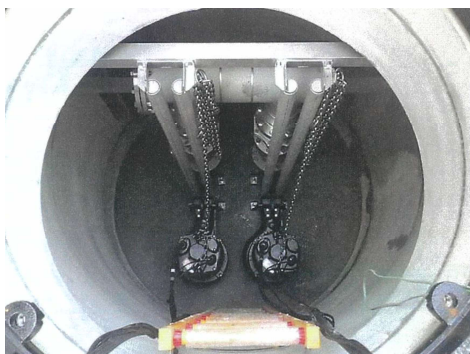
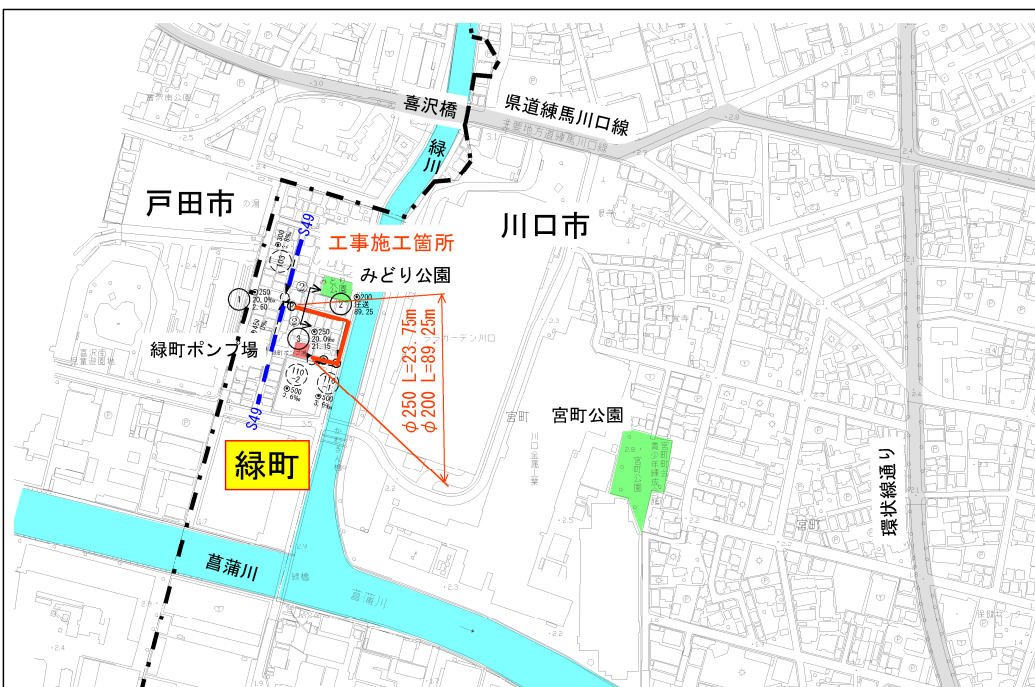
・社会資本整備総合交付金(防災・安全)

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

川島町、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、東松山市、狭山市、鴻巣市、深谷市、上尾市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、志木市、和光市、新座市、桶川市、北本市、富士見市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、水資源機構

『圧送管整備事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- (2) 内水氾濫対策: 下水道施設 ② 排水施設の整備



担当部署 川口市 下水道維持課

連絡先 048-258-4132

関係機関 -

取組概要

当該地区は周辺より地盤高が約2m低いため、大雨時に周辺から水が集まり、道路冠水が起りやすいことから、合流式下水道人孔から分水したポンプピット内に排水ポンプの設置と中継ポンプ場までの圧送管整備を行った。

- ・排水能力 5.0m³/分
- ・管口径 内径200mm(ダクトイル鋳鉄管)

取組内容の工夫点・課題・留意点

ポンプピット周辺に制御盤を設置する必要がある。

取組による効果

浸水被害の軽減につながることが期待される。

活用可能な制度等

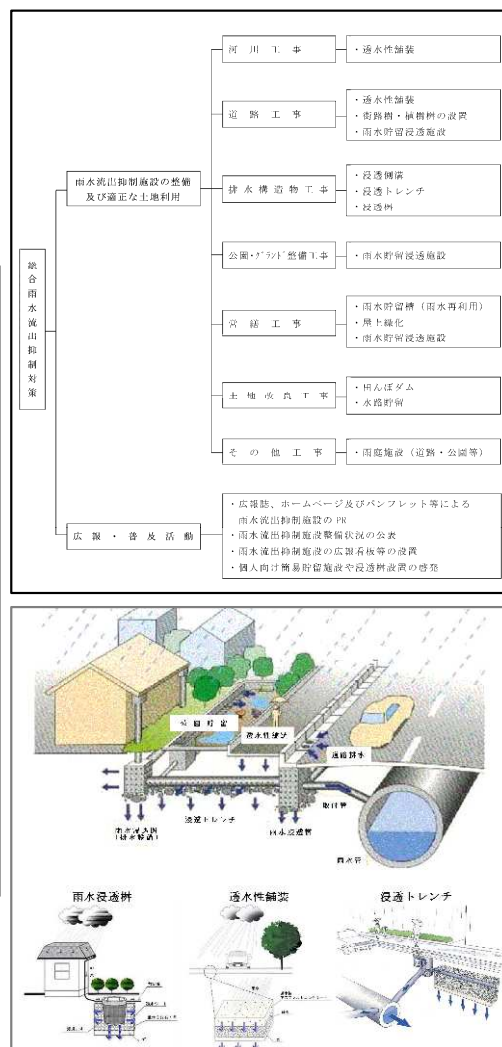
特になし。

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

川口市、さいたま市、川越市、熊谷市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、東松山市、狭山市、鴻巣市、深谷市、上尾市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、志木市、和光市、新座市、桶川市、北本市、富士見市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、川島町、水資源機構

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ①防災調節池の整備, ⑤浸透ます、浸透管の整備, ⑨浸透性舗装の整備



荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

さいたま市、熊谷市、行田市、所沢市、飯能市、東松山市、狭山市、鴻巣市、深谷市、上尾市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、久喜市、北本市、富士見市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、ふじみ野市、川島町

『流域貯留浸透事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ②校庭(公園等)貯留施設の整備

さいたま市流域貯留浸透施設位置図



担当部署

さいたま市 建設局土木部河川課

連絡先

048-829-1585

関係機関

埼玉県、江戸川河川事務所

取組概要

総合的な治水対策の一環として、学校・公園などの公共・公益施設などに、敷地内の降雨を一時的に貯留させる流域貯留浸透施設を設置しています。

さいたま市内の流域貯留浸透施設は、現在のところ、鴻沼川流域、中川・綾瀬川流域、笹目川流域を合わせて、**59箇所**あります。

取組内容の工夫点・課題・留意点

流域貯留浸透施設の日常の維持管理は、学校や公園の管理者に依頼していることから、適切な維持管理を行うためのマニュアルを整備し、年度当初に説明会を実施しています。

取組による効果

- ・鴻沼川流域: 30箇所
- ・中川・綾瀬川流域: **28箇所**(利根川水系)
- ・笹目川流域: 1箇所 (令和**6**年**4**月末現在)

活用可能な制度等

- ・防災・安全交付金
- 流域貯留浸透事業
- グリーンインフラ活用型都市構築支援事業

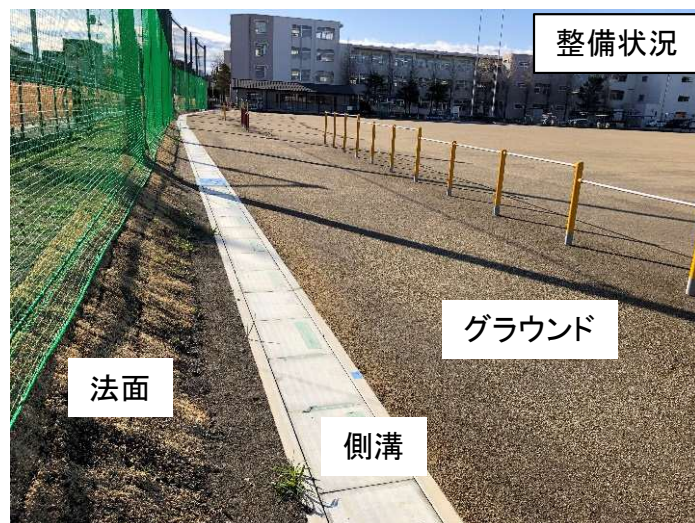
荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、狭山市、鴻巣市、上尾市、越谷市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、久喜市、北本市、富士見市、伊奈町、滑川町、埼玉県、江戸川河川事務所

『学校校庭貯留事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ②校庭(公園等)貯留施設の整備



担当部署 行田市 建設部道路治水課

連絡先 048-550-1553

関係機関 —

取組概要

行田市では、市内小学校4校を対象に校庭貯留施設の整備に取り組んでいます。4校のうち忍小学校は令和4年度、南小学校は令和5年度に実施し約1,700m³(25mプール2.8杯分)を貯留できる雨水貯留施設を整備済です。
令和6年度は、泉小学校の測量設計業務を実施中です。

取組内容の工夫点・課題・留意点

- 排水完了後、早期に使用可能となるように表土の泥濘化対策に配慮した。

取組による効果

- 大雨時の一時的な貯留により、地区の浸水被害防止に効果がある。

活用可能な制度等

- 防災・安全交付金

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

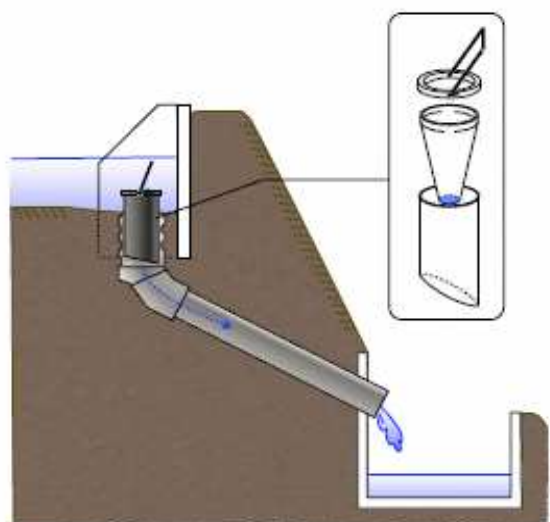
熊谷市、さいたま市、川越市、川口市、行田市、所沢市、狭山市、鴻巣市、上尾市、越谷市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、北本市、富士見市、伊奈町、滑川町、埼玉県 26

『水田の雨水貯留機能の強化(田んぼダム)事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ④ 水田貯留の実施

田んぼダム用水位調整管



担当部署

行田市 環境経済部農政課

連絡先

048-556-1111

関係機関

—

取組概要

行田市では、令和2年度から市内の多面的機能活動組織へ田んぼダムの取組を協力依頼。

現在、**17**組織に依頼している。(認定農用地面積**1,103**ha)

また、忍川流域の星宮地区において、令和4年度は6ha、令和5年度には4ha、**令和6年度には14ha**の田んぼへ水位調整管を市で設置した。

取組内容の工夫点・課題・留意点

- 本市から多面的機能活動組織へ依頼している田んぼダムは、現況の排水口にエルボ管等を台風など降雨前に設置し流出抑制するもので、その作業は各耕作者が行うこととなり、耕作者の作業負担や危険を伴うことから、令和4年度から水田貯留設備整備事業として市において田んぼダム用水位調整管の設置を始めている。

取組による効果

- 流出抑制事業以外にも、用排水路やため池の除草等の保全活動が適切に行われることで農地の保全が図られる。

活用可能な制度等

- 多面的機能支払交付金(農水省)

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

行田市、上尾市、志木市

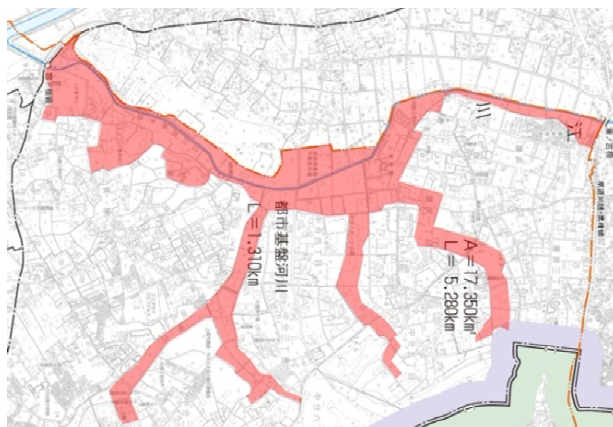
『河川流域遊水機能保全事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ④ 水田貯留の実施



対象箇所の写真



江川流域環境保全対象箇所

担当部署

上尾市 都市整備部建設管理課

連絡先

048-775-8597

関係機関

—

取組概要

洪水被害の軽減対策で、江川流域内の遊水機能としての役割を果たしている農地等について、河川改修が完了するまでの間、現状の土地利用をしてもらうために、農地地権者と保全協定を締結し、平成13年度より毎年報奨金を交付している。

取組内容の工夫点・課題・留意点

- 江川流域内の農地が適切に維持管理されているか毎年現況調査を実施している。
- 地権者の高齢化に伴い耕作放棄地が増えつつある。

取組による効果

- 流域の無秩序な埋立が抑止されている。

活用可能な制度等

上尾市河川流域の環境保全に関する実施要綱(市)

『浸水対策事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

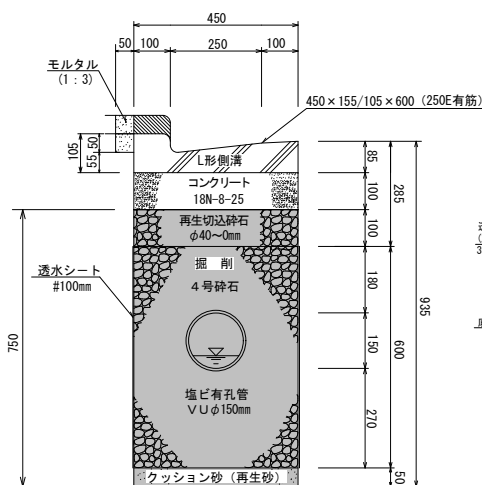
(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ⑤ 浸透ます、浸透管の整備

富士見市内全域

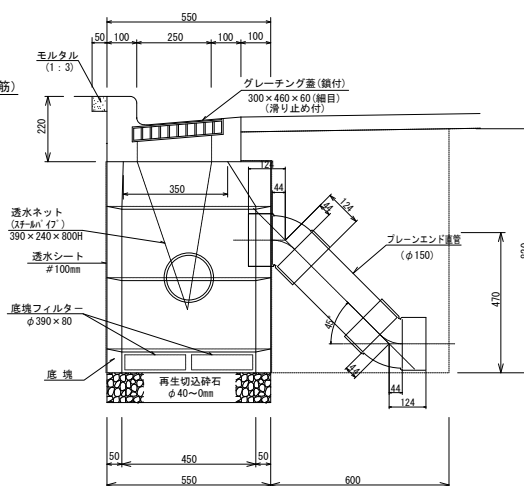


標準構造図

L形浸透トレンチ



L形浸透集水桝



担当部署

富士見市 建設部道路治水課

連絡先

049-251-2711

関係機関

—

取組概要

L型浸透トレンチ管等を布設し、雨水の地下浸透を促す。

取組内容の工夫点・課題・留意点

—

取組による効果

表面水を拡散させず、その場で地下へ浸透させることができるため、排水先への雨水流出を抑制し、浸水被害の軽減や河川等に対する洪水負担を軽減する効果がある。

活用可能な制度等

・緊急自然災害防止対策事業債

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

富士見市、さいたま市、熊谷市、行田市、所沢市、飯能市、東松山市、狭山市、鴻巣市、深谷市、上尾市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、北本市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、ふじみ野市、川島町

『さいたま市雨水貯留タンク設置事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ⑦ 住宅等における各戸貯留の実施

さいたま市全域



担当部署

さいたま市 環境局環境共生部環境対策課

連絡先

048-829-1331

関係機関

—

取組概要

雨水の有効利用及び災害時の非常用水の確保等を図るため、雨水貯留タンクを設置する者に対し、その購入及び設置に要する費用の一部に係る補助金を交付する。

取組内容の工夫点・課題・留意点

- ・各販売店や市民等への制度の周知
- ・予算の確保

取組による効果

雨水の有効利用・流出防止及び建築物貯留による地下水涵養の促進

活用可能な制度等

- ・さいたま市雨水貯留タンク設置補助金交付

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

さいたま市、川越市、熊谷市、行田市、所沢市、飯能市、狭山市、鴻巣市、深谷市、上尾市、越谷市、蕨市、戸田市、志木市、和光市、新座市、北本市、富士見市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、美里町、埼玉県

『雨水貯留浸透施設設置補助事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ⑦ 住宅等における各戸貯留の実施



令和元年度PR実績(市役所ロビーにサンプル品展示)

担当部署 狭山市都市建設部道路雨水課

連絡先 04-2953-1111 内線2152

関係機関 —

取組概要

流出抑制の取組として、当市では個人住宅に雨水貯留施設・浸透施設を設置する方に対し、設置費用の一部を助成している。この助成制度を市民に周知するため、PRを実施し利用促進を図っている。PRの一例として、市役所に貯留タンクのサンプルを展示。

取組内容の工夫点・課題・留意点

- 視覚に訴える(興味・関心)手法を取り入れ

取組による効果

- サンプル設置後は問い合わせが増加

活用可能な制度等

- 狭山市雨水各戸貯留浸透施設設置費補助金交付要綱(市)

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

狭山市、さいたま市、川越市、熊谷市、行田市、所沢市、飯能市、鴻巣市、深谷市、上尾市、越谷市、蕨市、戸田市、志木市、和光市、新座市、北本市、富士見市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、美里町、埼玉県

『雨水貯留施設設置等補助事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ⑦ 住宅等における各戸貯留の実施

【補助金交付の対象条件】

1. 市内に住所があり、自己の家庭用に設置を行う。
2. タンクが既製品であり、雨水を有効利用できる。
3. タンクに100ℓ以上の雨水を貯留することができる。
(複数のタンクでも合計が100ℓ以上で、互いに連結されていれば補助金交付の対象になります。)
4. タンクを安全に設置・使用・維持管理できる。

雨水貯留タンクの補助を行っています!!

1. 貯留タンクの設置を推進する理由

近年の集中豪雨や台風で、河川の増水や道路の洪水被害が増えています。水害から身を守るため、宅内での雨水貯留で、少しでも水害のリスクを減らしていきましょう!



2. 設置するメリット・デメリット



● メリット

- ・災害や緊急時に溜めた水を使用できる。
- ・自宅の洪水被害が軽減される。
- ・水道料金が節約できる。

▲ デメリット

- ・設置費用がかかる。
- ・設置場所が限られる。

3. 設置費用等の補助について

タンクの購入費用+工事費の補助金額の上限は、**3万円**です!!
設置する為の費用の**半額**を補助します!!
是非ご検討ください!!
※店舗や事業所は補助対象外です。



4. 詳しくは、上尾市河川課のホームページをご覧ください

上尾市HP⇒「組織」⇒「建設管理課」⇒「雨水タンク設置費補助制度について」

QRコードからホームページにアクセスできます。



上尾市役所都市整備部建設管理課
上尾市本町三丁目1番1号
TEL: 048-775-8597
FAX: 048-775-9906
—ご不明な点は、お問い合わせください—

担当部署

上尾市 都市整備部建設管理課

連絡先

048-775-8597

関係機関

—

取組概要

上尾市では、流域対策の一環として、市内の戸建て住宅を対象に雨水貯留タンクを設置する際に、費用の1/2(上限3万円)を助成している。

取組内容の工夫点・課題・留意点

- ・市内の各種イベントでパンフレットを配布している。
- ・開発申請に併せて雨水貯留タンク設置のPRを行っている。

取組による効果

- ・平成21年度より実施しており、これまでの累計申請件数は214件にのぼる。

活用可能な制度等

- ・上尾市雨水貯留施設設置等補助金交付要綱(市)

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

上尾市、さいたま市、川越市、熊谷市、行田市、所沢市、飯能市、狭山市、鴻巣市、深谷市、越谷市、蕨市、戸田市、志木市、和光市、新座市、北本市、富士見市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、美里町、埼玉県

『雨水貯留施設(雨水貯留タンク)設置補助金制度』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ⑦ 住宅等における各戸貯留の実施

富士見市内全域



担当部署

富士見市 建設部道路治水課

連絡先

049-251-2711

関係機関

—

取組概要

流域対策の一環として、一定の要件を満たした方を対象に雨水貯留タンクの設置に係る費用の1/2(上限3万円)を助成している。

取組内容の工夫点・課題・留意点

—

取組による効果

宅地内での雨水処理を促すことが出来る。

活用可能な制度等

・富士見市雨水貯留施設設置補助金交付要綱

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

富士見市、さいたま市、川越市、熊谷市、行田市、所沢市、飯能市、狭山市、鴻巣市、深谷市、上尾市、越谷市、蕨市、戸田市、志木市、和光市、新座市、北本市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、美里町、埼玉県

『上尾市雨水排水流出抑制施設設置基準』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ⑧一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置義務づけの有無

抑制量の算定式

必要抑制量の算定

抑制量 $V = V_1 \cdot A$

$$\left\{ \begin{array}{l} V : \text{抑制量 } \text{m}^3 \\ V_1 : \text{対策量 } \left\{ \begin{array}{l} 1.0 \text{ ha 未満} \\ 1.0 \text{ ha 以上} \end{array} \right. \begin{array}{l} 500 \text{ m}^3 / \text{ha} \\ 950 \text{ m}^3 / \text{ha} \end{array} \\ A : \text{開発区域面積 } \text{ha} \end{array} \right.$$

計算例

開発面積800m²の場合

$$800 \text{ m}^2 \times 0.05 \text{ m}^3 / \text{m}^2 = 40 \text{ m}^3$$

40m³の雨水流出抑制を行う。

担当部署

上尾市 都市整備部建設管理課

連絡先

048-775-8597

関係機関

—

取組概要

上尾市内で500m²以上の開発申請があった場合、上尾市雨水排水流出抑制施設設置基準に基き、申請面積に対して500m³/haの雨水流出抑制を義務付けている。

取組内容の工夫点・課題・留意点

・開発面積が1.0ha以上の場合には、埼玉県の手導で雨水流出抑制を実施する。

取組による効果

・開発箇所の雨水流出を最小限に抑えることができる。

活用可能な制度等

特になし

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

上尾市、さいたま市、川越市、川口市、行田市、所沢市、飯能市、東松山市、狭山市、鴻巣市、深谷市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、富士見市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、滑川町、小川町、川島町、吉見町、埼玉県

『貯留浸透事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ⑧一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置義務づけの有無

(雨水浸透貯留槽位置図)新座市大和田地区



整備状況写真

※雨水浸透貯留槽の設置状況
令和5年度から令和6年度に実施
(大和田水辺の丘公園)



担当部署

新座市 **インフラ整備部道路河川課**

連絡先

048-477-4908

関係機関

—

取組概要

開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置に関しての取組として、開発事業者に対し、雨水流出抑制量を1ha未満の事業区域については600m³/ha、1ha以上の事業区域については950m³/ha相当の施設を設けるよう**本市の条例に基づき**指導を行っている。

また、市内公共施設の新築・改築の建築工事時には新座市雨水管理総合計画に基づき、雨水流出抑制量を1ha未満の事業区域については600m³/ha、1ha以上の事業区域については1050m³/ha相当の施設を設けるよう市内の関係機関と内部調整を図り、内水氾濫を抑制する取り組みを行っている。

令和6年度には、昨今のゲリラ豪雨で甚大な被害を被った地区において、貯留量1148m³の雨水浸透貯留槽の整備を行い、今後も調整池改良工事や既存集水樹浸透化工事等を道路冠水地区を中心に検討している。

取組内容の工夫点・課題・留意点

- ・ 新座市雨水管理総合計画に基づき、計画的に小・中学校の大規模改修に合わせて、校庭貯留の整備を実施予定であるが、整備費用が高むことから予算の確保が課題となっている。
- ・ 雨水流出抑制施設の増設に加えて、メンテナンス費用が増大することから、予算の確保が課題となる。

取組による効果

雨水を貯留・**浸透**することにより、河川への流出を抑制する。

活用可能な制度等

特になし

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

新座市、さいたま市、川越市、川口市、行田市、所沢市、飯能市、東松山市、狭山市、鴻巣市、深谷市、上尾市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、桶川市、久喜市、富士見市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、滑川町、小川町、川島町、吉見町、埼玉県

『道路新設改良事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ⑨ 浸透性舗装の整備



担当部署 深谷市 道路河川課

連絡先 048-574-6652(直通)

関係機関 —

取組概要

歩道施工箇所(乗入部は除く)については、透水性舗装にて施工している。

- 市道幹44号線 (工期R5.10.12～R6.6.28)
歩道部 面積184.3㎡(L=97.8m B=2.5m)
- 市道幹10号線 (工期R5.8.28～R6.4.30)
歩道部 面積217.0㎡(L=142.7m B=2.5m)

取組内容の工夫点・課題・留意点

—

取組による効果

道路表面排水を一時的に貯水するため、下流への排水に係る負担軽減につながる。

活用可能な制度等

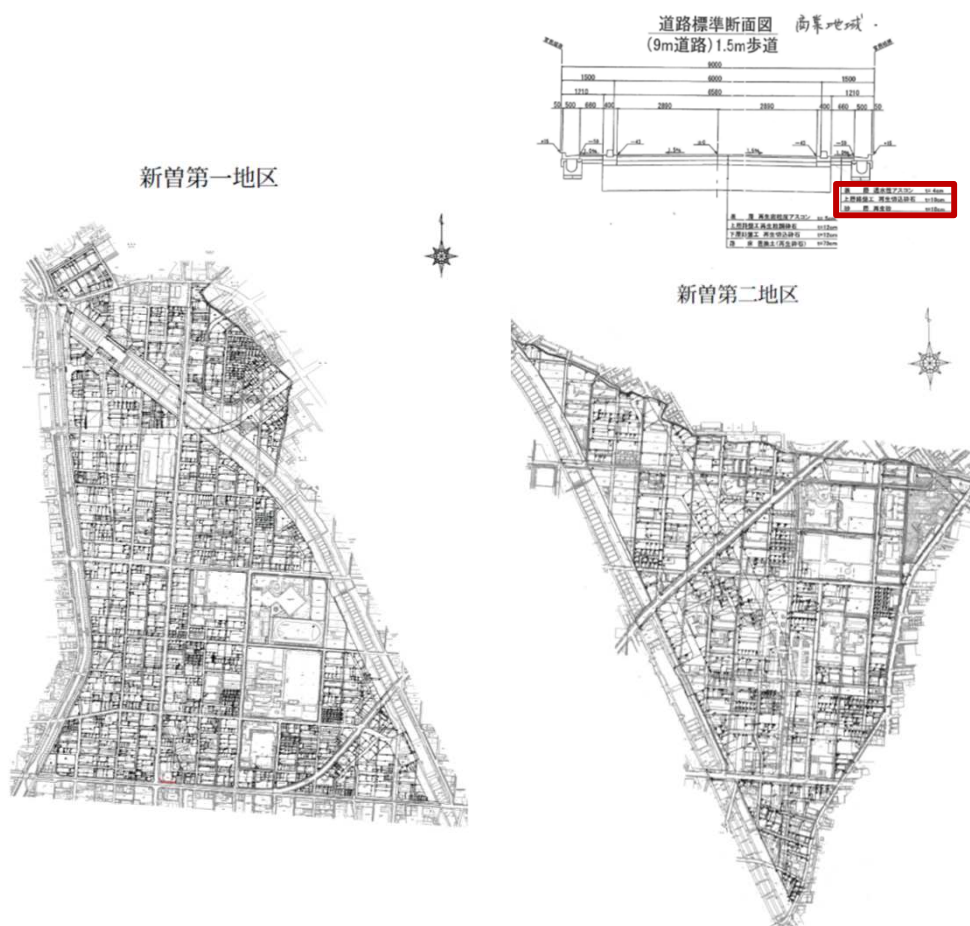
特になし

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

深谷市、さいたま市、熊谷市、行田市、所沢市、飯能市、東松山市、鴻巣市、上尾市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、和光市、久喜市

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5)流域の雨水貯留機能の向上 ⑨浸透性舗装の整備



担当部署	戸田市 都市整備部まちづくり区画整理室
連絡先	048-447-7300
関係機関	—
取組概要 ・透水性舗装の整備	
取組内容の工夫点・課題・留意点 —	
取組による効果 ・事業地内の道路排水機能の向上	
活用可能な制度等 特になし	

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

戸田市、さいたま市、熊谷市、行田市、所沢市、飯能市、東松山市、鴻巣市、深谷市、上尾市、蕨市、入間市、朝霞市、和光市、久喜市

『グリーンインフラ活用基盤整備工事(荒川流域)』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ⑪ グリーンインフラ整備



担当部署 川口市 建設部 公園課

連絡先 048-242-6338

関係機関 -

取組概要

レインガーデン(雨庭)の整備による都市水害の軽減

公園の植栽基盤にレインガーデン(雨庭)を整備することで、雨水を基盤内に貯留・浸透させ、下水、河川等の既存インフラの負担を軽減し、周辺の浸水被害を低減させることで防災力の向上を図る。

公共空間の暑さ指数の低下

レインガーデンを整備し、雨水を基盤内に貯留させることで、晴天時はレインガーデンや保水性舗装等からの蒸発散効果で路面温度を抑制することで、ヒートアイランド現象の緩和を図る。

緑陰の形成

樹木を良好に生育させ、樹冠を拡大させることで、豊かな緑陰の形成を目指す。

取組内容の工夫点・課題・留意点

整備箇所について、「雨水貯留浸透効果調査」・「微気象緩和に関する調査」・「植物生育調査」等を実施し、効果の検証を行う。

取組による効果

- ・レインガーデン(雨庭)の整備による都市水害の軽減
- ・公共空間の暑さ指数の低下

活用可能な制度等

特になし

『大滝地区外(植付外)請負事業(除伐作業)』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ⑫ 森林整備、治山対策

位置図・対策概要



事業場所：秩父市荒川日野字中川国有林外

●：R6年度実施箇所

(概要図・整備状況がわかる写真等)



除伐実施前



除伐実施後

担当部署

埼玉森林管理事務所 業務グループ

連絡先

0494-23-1260

関係機関

—

取組概要

水源の涵養等の公益的機能を増進させるため除伐を実施。

取組内容の工夫点・課題・留意点

除伐木が滑落や流出しないよう実施。

取組による効果

林床により一層日光が入ることにより、下層植生の成長を促し土砂の流出の防止、山腹崩壊の防止、水源の涵養等の公益的機能を高める。

活用可能な制度等

特になし

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

埼玉森林管理事務所、秩父市、飯能市、埼玉県

『上下流連携事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

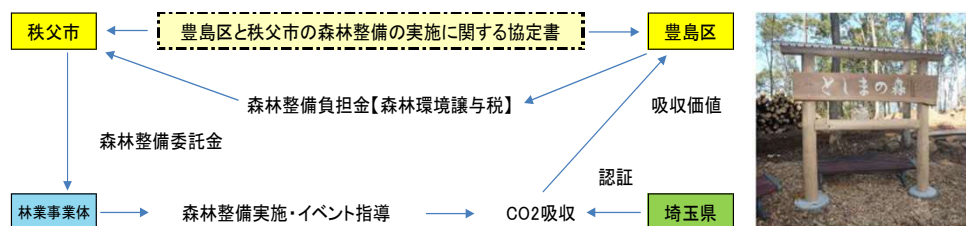
(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ⑫ 森林整備、治山対策

■ 森林環境譲与税を活用した森林整備

■ 秩父地域が連携した森林経営管理制度による森林整備の推進



■ 荒川上下流域の自治体連携による森づくり（秩父市・豊島区）



担当部署

秩父市 農林部森づくり課

連絡先

0494-22-2369 mori@city.chichibu.lg.jp

関係機関

秩父地域森林林業活性化協議会
（秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、埼玉県秩父農林振興センター 等）、豊島区

取組概要

・秩父地域森林林業活性化協議会の枠組みを活用し、秩父地域1市4町が連携して森林経営管理制度の意向調査等を実施。手入れの遅れた森林の集約化による森林整備を推進。

・姉妹都市である豊島区と森林整備協定を締結し、秩父市有林において「としまの森」を整備。

取組内容の工夫点・課題・留意点

・秩父地域が連携することによる効率的な意向調査等の実施

・豊島区の森林環境譲与税を基に秩父市が整備し、その整備に対してカーボンオフセットによる豊島区のCO2排出削減に貢献

取組による効果

・荒川上流域の森林整備によって流域全体の災害防止や水源確保に寄与

活用可能な制度等

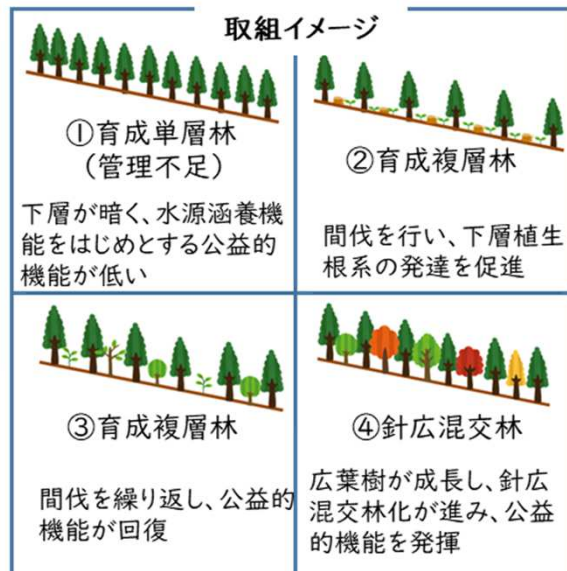
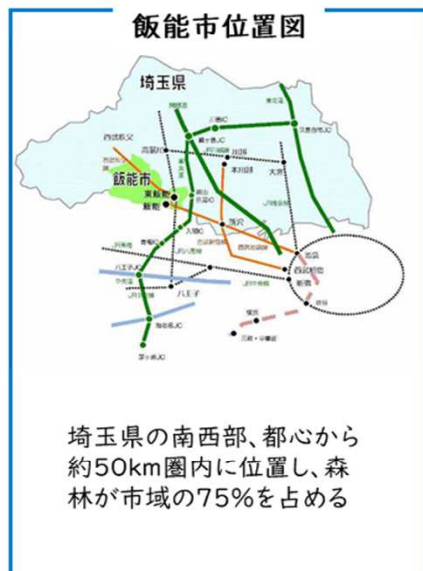
・森林環境譲与税

・森林経営管理制度

『水と緑の森林づくり推進事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ⑫ 森林整備、治山対策



取組実施状況



担当部署

飯能市 森林づくり課

連絡先

042-978-5061

関係機関

—

取組概要

木材生産の条件不利地にあり、手入れ不足の民有林の間伐を実施し、針広混交林化を進め、森林の持つ公益的機能の発揮を促進する

取組内容の工夫点・課題・留意点

・境界不明、所有者不明、林業の担い手確保

取組による効果

・森林の持つ公益的機能の発揮を促進

活用可能な制度等

・森林環境譲与税

『立地適正化計画策定事業』

2.被害対象を減少させるための対策

(1)水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 ②災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定



担当部署	秩父市地域整備部まちづくり公園課
連絡先	0494-26-6867
関係機関	—
取組概要 災害ハザード情報(土砂災害・水害リスク情報図等)を踏まえた防災・減災を目指したまちづくりに取り組む。	
取組内容の工夫点・課題・留意点 ・災害ハザード情報を踏まえた地域防災計画の見直しや立地適正化計画の策定。 ・危険ながけ地や水害リスクのある地域を誘導区域から除外しこれらのエリアへの宅地開発を抑制。 ・山間地の土砂災害(特別)警戒区域から誘導区域内へ移転促進。 ・水害リスク情報図の公表に伴う指定緊急避難場所の見直し。 ・災害ハザード情報のオープンデータ化	
取組による効果 災害ハザードエリア内への住宅新規立地抑制	
活用可能な制度等 集約形成都市支援事業補助金(国交省)	

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

秩父市、東松山市、深谷市、蕨市、朝霞市、志木市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、毛呂山町、越生町、小川町、鳩山町、寄居町、**川越市** 42

『東松山市立地適正化計画の策定』

2.被害対象を減少させるための対策

(1)水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 ②災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定

対象箇所の土地利用:市街地

東松山市全域

担当部署

東松山市 都市計画部 都市計画課

連絡先

0493-21-1425

関係機関

—

取組概要

災害ハザード区域を考慮した居住誘導区域の設定。
防災指針では、災害リスクを分析しリスクの高い地域を抽出した上で、取組方針及び具体的な防災減災対策を示す。

取組内容の工夫点・課題・留意点

浸水想定区域については、降雨や河川水位の観測体制の整備により事前の避難が可能である点を考慮し、浸水被害の防止・軽減に向けた各種取り組みを実施することを前提に誘導区域に含める。
家屋等氾濫想定区域については、人的被害の可能性が高い点を考慮し、居住誘導区域から除外する。

取組による効果

居住誘導区域に対する防災減災対策を示すとともに、生活に必要な各種施設や住まいの立地を適正な方向に誘導する。

活用可能な制度等

コンパクトシティ形成支援事業ほか。

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

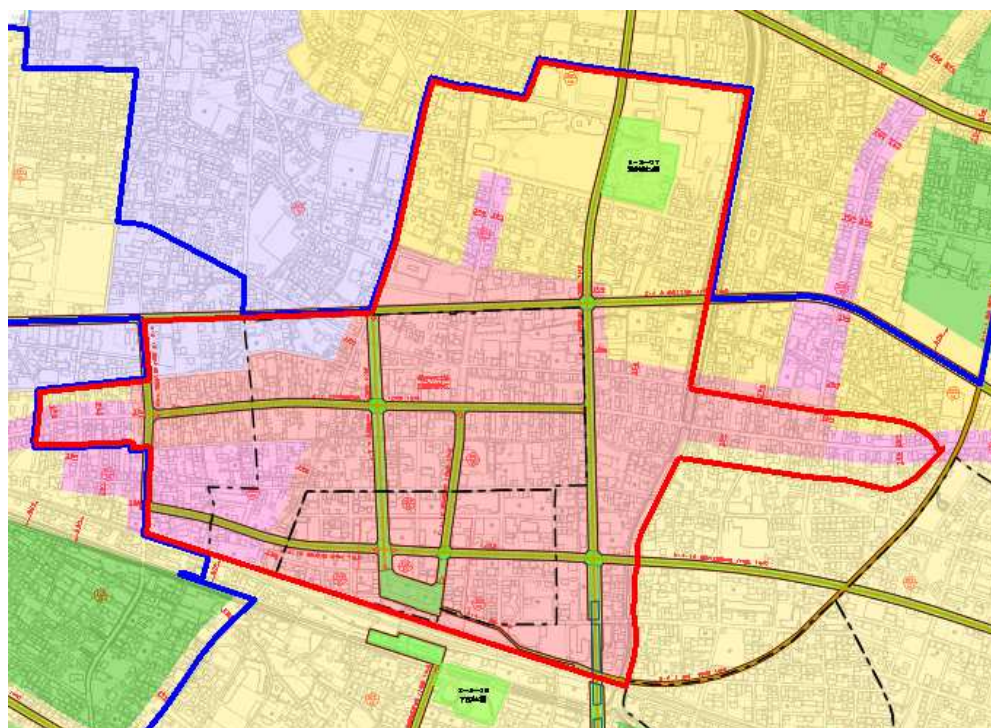
東松山市、秩父市、深谷市、蕨市、朝霞市、志木市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、毛呂山町、越生町、小川町、鳩山町、寄居町、川越市 43

『立地適正化計画策定事業』

2.被害対象を減少させるための対策

(1)水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 ②災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定

立地適正化計画（深谷地区 影響のあった範囲周辺）
赤枠…都市機能誘導区域、青枠…居住誘導区域



担当部署

深谷市 都市計画課

連絡先

048-574-6653

関係機関

—

取組概要

・立地適正化計画における居住誘導区域の設定の際、計画降雨による洪水浸水想定区域(2m以上)・想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域(2m以上)について、都市機能誘導区域から居住誘導区域に係る連続性が失われないと判断されたエリアは居住誘導区域から除外した。

取組内容の工夫点・課題・留意点

・市民の生命、安全の確保を優先しながら、土地利用の連続性に考慮している点

取組による効果

・公共施設等の建替を検討する際に、立地適正化計画の指定を踏まえて検討が行われるようになったこと

活用可能な制度等

特になし

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

深谷市、秩父市、東松山市、蕨市、志木市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、毛呂山町、越生町、小川町、鳩山町、寄居町

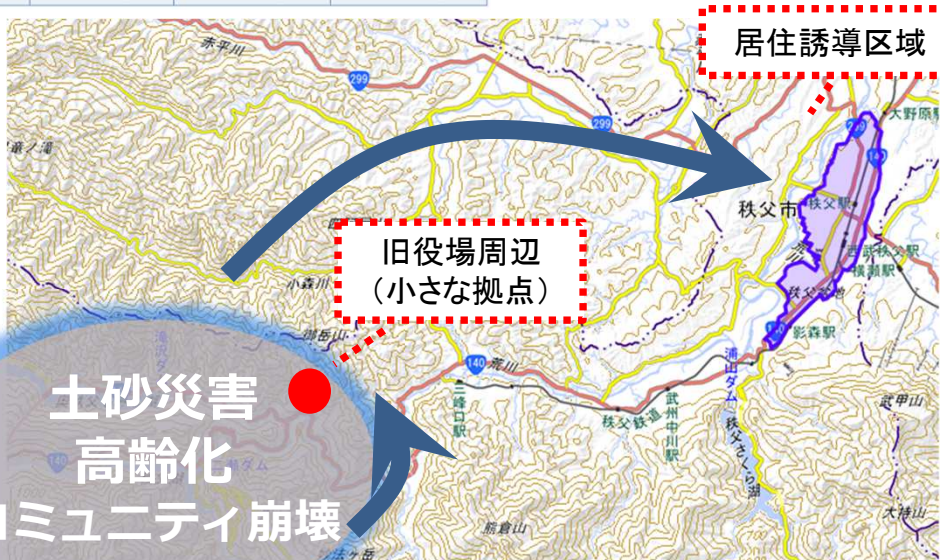
『防災集団移転促進事業・居住誘導区域等権利設定等事業』(検討中)

2.被害対象を減少させるための対策

(1)水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 ⑥まちづくりと一体となった土砂災害対策の推進

地域	1960年 (全体ピーク)	2015年(現在)	2040年(予測)
中央	35,543	23,357	15,357
大滝	8,202	788	238
荒川	6,257	5,175	3,213
合計	82,811	63,555	44,719

林・鉱業の衰退・ダム移転等によりかつて8,000人以上あった人口が20年後には300~100人程度に減少予測



でも今更新築を建て
てるお金もない...

空き家を有効活用
できないか？
(検討中)

担当部署

秩父市地域整備部まちづくり公園課

連絡先

0494-26-6867

関係機関

—

取組概要

災害ハザードエリアからの移転に対し、既存ストック(空き家等)を活用することにより、本人負担の軽減を図る。

取組内容の工夫点・課題・留意点

空き家調査により空き家の分布状況・所有者の意向を調べ、居住誘導区域内や小さな拠点周辺など、安全措置が図られた同じエリア内の空き家を活用し、集団移転することにより本人負担の軽減とコミュニティの維持を図る。

取組による効果

災害危険エリアからの移転
空き家の利活用(コンパクトシティ形成)

活用可能な制度等

防災集団移転促進事業
居住誘導区域等権利設定等事業
空き家対策総合支援事業

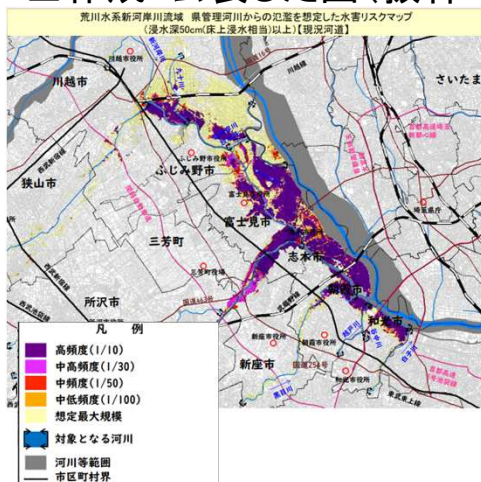
(国交省)

『中高頻度の水害リスク情報図及び多段階の浸水想定図作成・公表』

2.被害対象を減少させるための対策

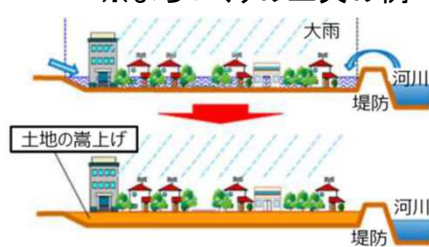
(2)まちづくりでの活用を視野にした土地の水害リスク情報の充実 ①開発の規制や居住の誘導に有効な多段的なリスク情報の充実

■ 作成・公表した図(抜粋・一部地域拡大)

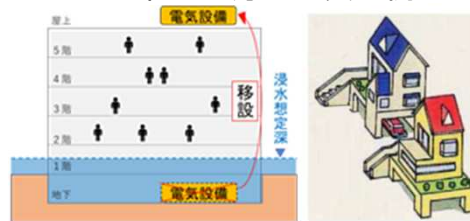


■ 活用例

※まちづくりの工夫の例



※住まい方の工夫の例



集合住宅における停電対策 プロテティ建築

※上記対策はイメージであり個別具体の箇所での実施を示しているものではありません。

担当部署

埼玉県 県土整備部 河川砂防課

連絡先

048-830-5162

関係機関

都市整備部 都市計画課 など

取組概要

土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、発生頻度が高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を明らかにするため、「水害リスクマップ」や「多段階の浸水想定図」を作成・公表した。

また、埼玉県が作成した水害リスクマップ及び多段階の浸水想定図に、既に国土交通省が公表している水害リスクマップ及び多段階の浸水想定図を重ね合わせた図を作成・公表した。

取組内容の工夫点・課題・留意点

まちづくり部局と連携をしながら取組を進めた。

取組による効果

まちづくりや住まい方の工夫に活用することにより、被害の軽減が図られる。

活用可能な制度等

社会資本整備総合交付金(河川)事業(国交省)

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

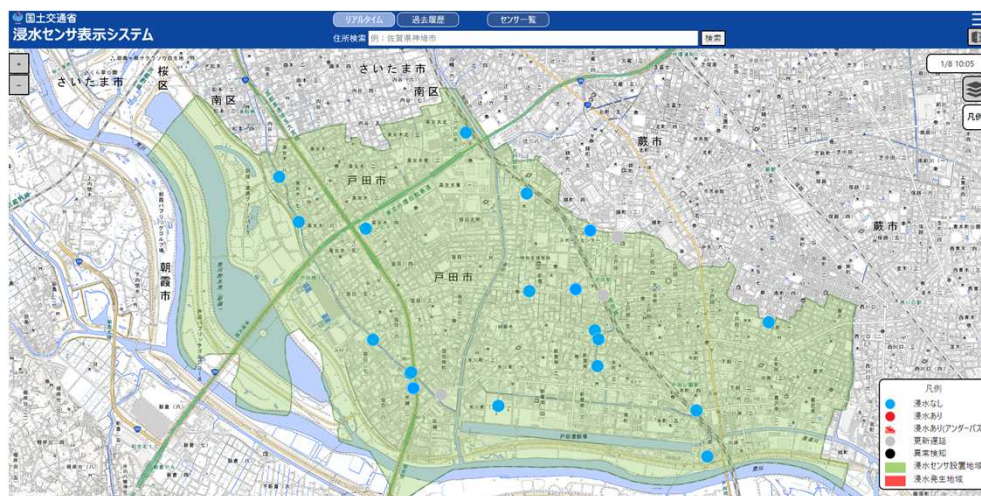
埼玉県

『ワンコイン浸水センサの整備』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1)避難体制等の強化 ②ワンコイン浸水センサの整備

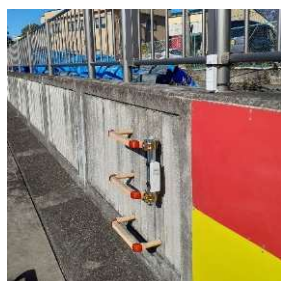
○戸田市 浸水センサ設置位置図



○浸水センサ設置状況

浸水センサ (道路用) 12地点 計36基

浸水センサ (河川用) 6地点 計22基 計 18地点 58基



河川浸水センサ設置状況



道路浸水センサ設置状況



道路通行止め(R6.7.31)

担当部署 戸田市 水安全部河川課

連絡先 048-229-4801

関係機関 国土交通省

取組概要

国土交通省で実施中の「ワンコイン浸水センサ実証実験」に令和5年度より参加。令和6年度には河川で追加設置を行い、現在浸水センサは道路12地点36基、河川6地点22基で運用中。

道路:道路冠水状況の早期把握 ⇒ 通行止め対応

河川:河川水位の把握 ⇒ 正確な情報の把握、共有

取組内容の工夫点・課題・留意点

令和5年度に流域治水に関する連携を強化する連絡会議を発足し、情報共有を図ることで、河川、道路共同で浸水センサの実証事件に参加。

運用から2年たち、浸水センサの一定の精度確認はできたが、通信不良などが発生するケースがあり、今後、対策が必要。

取組による効果

令和6年7月31日の集中豪雨では道路冠水箇所を早期把握することで迅速な通行止め対応。水位計がないなか、正確な水位情報の把握が実現。

活用可能な制度等

国土交通省で実施している「ワンコイン浸水センサ実証実験」

『まるごとまちごとハザードマップの整備』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実

(1)避難体制等の強化 ③まるごとまちごとハザードマップの整備



洪水ハザード標識930箇所(担当:河川課)



R4年度防災訓練にてPR



避難場所誘導標識360箇所(担当:危機管理室)

担当部署 越谷市 建設部 河川課 / 危機管理室

連絡先 048-963-9203 (河川課)

関係機関 —

取組概要

・想定最大規模の洪水における浸水深に関する情報を水害関連標識として、居住地域に表示することにより、日常時から水防災への意識を高めるとともに、浸水深・避難所等の知識の普及・浸透を図り、災害発生時には命を守るための市民の主体的な避難行動を促し、被害を最小限に抑えることを目的に設置した。

(URL) https://www.city.koshigaya.saitama.jp/anzen_anshin/bosai/map/marugotomatigoto.html

取組内容の工夫点・課題・留意点

・洪水ハザード標識は河川沿いや浸水被害の大きい箇所に限定せず、市内全域に設置した。

取組による効果

・浸水被害に対する市民の防災意識の向上

活用可能な制度等

社会資本整備総合交付金

『鴻巣市防災ラジオ貸与事業』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実

(1)避難体制等の強化 ④その他の取り組み

①広報かがやきR5.1月号抜粋

防災ラジオ のすすめ

防災行政無線が
雨や風の音で聞こえない…

そんなとき ↓ 防災ラジオなら!!

室内で防災行政無線の放送が聞ける
ほか、FM放送も聞けるので、災害
時の情報収集に役立ちます。

災害時に役立つ 5つの機能

1. 防災アンテナが受信して、防災行政無線が自動で流れる
2. 電池を入れた状態で電源をコンセントにつないでおけば、停電時に電池で起動ができる
3. 停電時に自動でLEDライトが点灯
4. FM放送を聞くことができる
5. 直近の防災行政無線を聞き直すことができる

ラジオの費用
1台 **3,000円**

問い合わせ
危機管理課 (内線 2213)

◀詳細は市HPをご覧ください

②鴻巣市防災ラジオ有償貸与要綱抜粋

最終改正:令和4年2月24日告示第40号

改正内容:令和4年2月24日告示第40号 [令和4年2月24日]

(貸与の対象者)

第3条 防災ラジオの貸与の対象となるもの(以下「対象者」という。)は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

(1) 市内に住所を有する世帯の世帯主

(2) 市内に事業所を有する者

(3) 自主防災組織、自治会及び町内会

2 前項の規定にかかわらず、前項第1号に掲げる者の属する世帯に市税の滞納がある者があるとき、又は前項第2号に掲げる者に市税の滞納があるときは、対象者としていない。

担当部署 鴻巣市 危機管理課

連絡先 048-541-1321

関係機関 —

取組概要

●市民等への情報伝達方法の改善

令和元年東日本台風の際には、暴風雨の中、雨戸等を締めていたこともあり、防災行政無線による**避難指示**が聞き取れなかったとの意見が多く寄せられました。このことから、災害時により確実に情報伝達ができるよう、防災行政無線の放送内容を屋内で聞くことができる「防災ラジオ」を整備し貸与を実施。

無償貸与:自治会長、自主防災会長、民生委員、公共施設、社会福祉施設等
有償貸与:1台3,000円で希望者へ貸与

実施状況(令和7年1月1日時点)

無償貸与者へ約1,000台貸与 有償貸与者へ約1,500台貸与

取組内容の工夫点・課題・留意点

工夫点:市民に対し市の広報誌、**職員出前講座**、HP、SNS等を使って防災ラジオの周知を図った。

取組による効果

避難所となる施設や、避難確保計画を作成する必要がある社会福祉施設等にも無償で貸与を行っているため、洪水発生時の適切な情報伝達ができると考えられる。また、**防災行政無線の放送内容を屋内で確認したい一般の方**にも**有償貸与**していることから確実な情報伝達が行えると考えている。

活用可能な制度等

特になし

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

鴻巣市、川島町、**東松山市**

『陸上自衛隊と協働でのハザードマップ説明会の開催』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実

(1)避難体制等の強化 ④その他の取り組み



担当部署

川島町 総務課 防災対策室

連絡先

049-299-1753

関係機関

—

取組概要

ハザードマップ説明会において、陸上自衛隊 大宮駐屯地の隊員を講師に招き、町職員によるハザードマップ説明と災害時の陸上自衛隊の活動及び令和元年台風19号での災害支援活動について説明を行った。

取組内容の工夫点・課題・留意点

陸上自衛隊の活動を直接聞くことで、町民への安心感及び陸上自衛隊の活動への理解を得られることができた。

取組による効果

説明会後のアンケートでは、避難することの重要性や陸上自衛隊の活動が知れて良かったなど前向きな意見が多数寄せられた。

活用可能な制度等

特になし